

# 循環器疾患における緩和ケアの チーム体制について

厚生労働省健康局がん・疾病対策課

# がんや循環器疾患における多職種連携体制について

- 緩和ケアは、全人的なケアが必要な領域であり、多職種による連携を促進する必要がある。そのため、互いの役割や専門性を理解し、共有することが可能な体制を整備する必要がある<sup>1</sup>。
- がんにおける緩和ケアチームでは、患者の全人的な苦痛を包括的に評価し、必要に応じて身体症状や精神症状の緩和に関する専門家と協力する体制が必要とされている<sup>2</sup>。
- 循環器疾患の再発予防・再入院予防に向けた疾病管理は、生活一般・食事・服薬指導等の患者教育、運動療法、危険因子の管理等、多岐にわたっている。そのため循環器疾患の疾病管理においては、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、医療ソーシャルワーカー、保健師等の多職種の連携が必要である<sup>3</sup>。

## がん診療連携拠点病院等の緩和ケアチーム<sup>2</sup>

- 専任の身体症状担当医師
- 精神症状担当医師
- 専従の看護師※
- 薬剤師
- 臨床心理に携わるもの

※がん専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師のいずれか。

## 循環器疾患の疾病管理に関わる職種<sup>3</sup>

- 医師
- 看護師
- 薬剤師
- 理学療法士
- 栄養士
- 医療ソーシャルワーカー
- 保健師

等

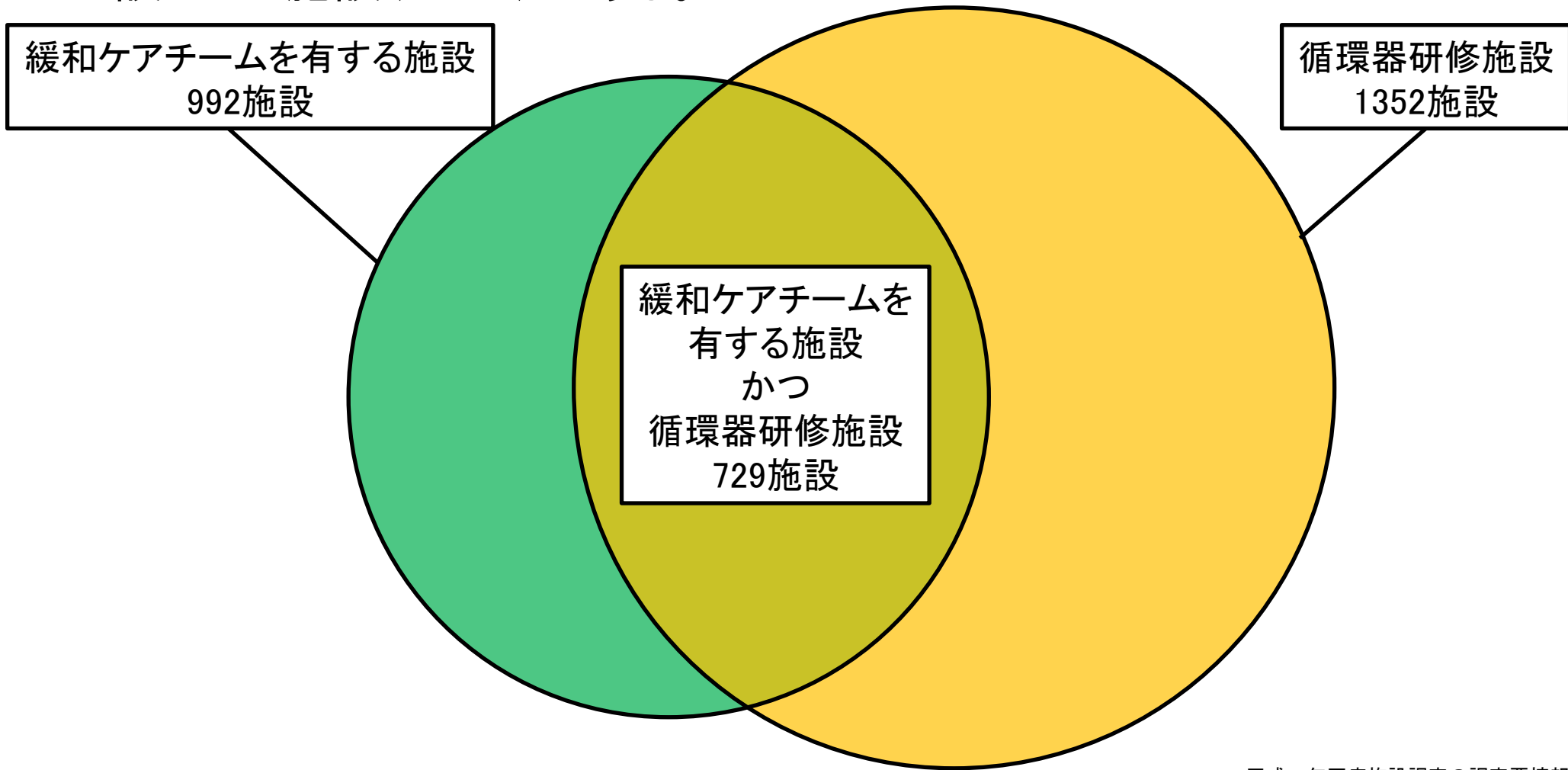
1: 第3期がん対策推進基本計画(平成29年10月)

2: 「がん診療連携拠点病院等の整備について」(平成26年1月10日厚生労働省健康局長通知別添)

3: 「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方について」(平成29年7月)より引用改変

# 緩和ケアチームを有する施設と循環器研修施設

- 緩和ケアチームを有する施設992施設中、循環器研修施設である施設は729施設(73.5%)である。



# 緩和ケアチームを有する施設と循環器関連施設

がん診療連携拠点病院等以外の医療機関を含む

- 緩和ケアチームは、大病院に多く設置され、中小病院において少ない傾向がある。

	病院(≥300床)	病院(<300床)
緩和ケアチームを有する施設数	714施設	278施設
緩和ケアチームを有する施設の内、循環器内科 または心臓・血管外科を標榜している施設数	682/714 (95.5%)	208/278 (74.8%)
緩和ケアチームを有する施設の内、 循環器研修施設数	626/714 (87.7%)	103/278 (37.1%)

参考: 傷病分類別にみた施設の種別推計患者数(単位千人)

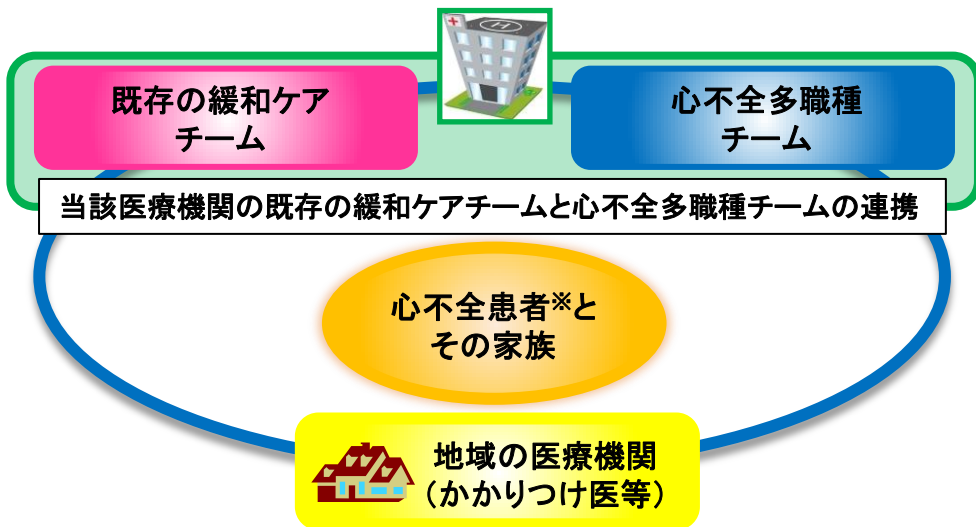
外来	病院(≥300床)	病院(<300床)	一般診療所
総数	826.2	815.8	4233.0
悪性新生物	115.0	31.3	24.8
心疾患(高血圧性のものを除く)	40.8	27.4	65.7

循環器研修施設: 日本循環器学会循環器専門医研修施設及び循環器専門医研修関連施設(平成29年10月時点)

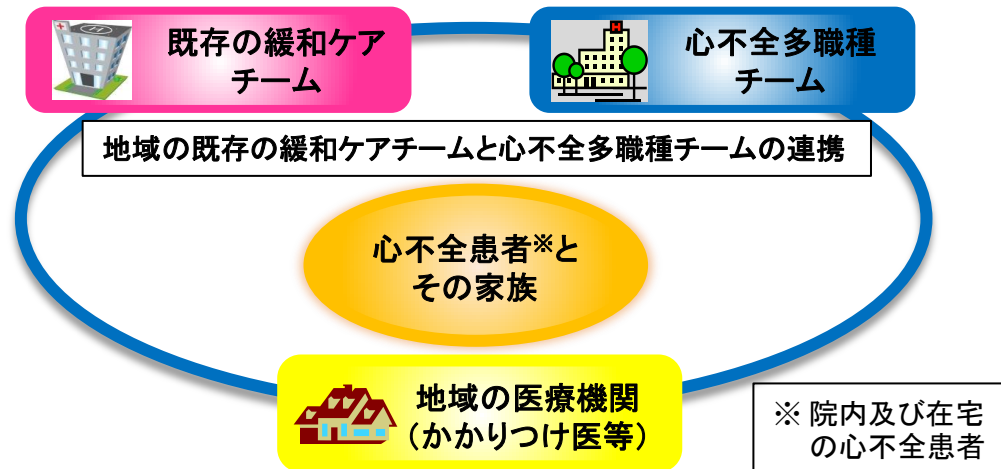
# 循環器疾患における緩和ケアのチーム体制に関する検討の方向性(案)

- 緩和ケアを行う場合は、医師・看護師・薬剤師などを中心とした心不全多職種緩和ケアチームとして行い、多職種カンファレンスを持って問題点を討議し解決を図ることが必要である<sup>1</sup>。
- 緩和ケアチームを有する施設の中には、循環器疾患に対する診療を行っている病院も多く含まれている。
- 地域で心不全患者を診ていくためには、多施設、多職種での連携が必要となるため、情報共有・コミュニケーションが重要となる。また、患者の症状緩和を行うだけでなく、家族のケアも念頭に置いた診療が必要となる<sup>1,2</sup>。

## 同一医療機関内に緩和ケアチームがあるケースのイメージ



## 同一医療機関内に緩和ケアチームがないケースのイメージ



※ 院内及び在宅の心不全患者

- ✓ 心不全に対して、適切な緩和ケアを提供するためには、緩和ケアチーム、心不全多職種チーム、かかりつけ医等の地域の医療機関が有機的に連携することが求められる。
- ✓ そのような連携を踏まえ、情報の共有に基づいて管理方針を決定し、患者や家族の状況に応じた多職種介入が求められる。

- 循環器疾患における緩和ケアのチーム体制について、既存の緩和ケア及び循環器疾患に関する多職種チーム間の連携による体制を中心に、これまでの取組事例を参考にしながら検討する。

# 参考：都道府県における緩和ケアチーム及び循環器関連施設

第1回ワーキンググループ資料3 一部改変(29. 11. 16)

	緩和ケアチームを有する施設数	循環器研修施設数	緩和ケアチームを有する施設の内、循環器内科または心臓・血管外科を標ぼうしている施設数	緩和ケアチームを有する施設の内、循環器研修施設数		緩和ケアチームを有する施設数	循環器研修施設数	緩和ケアチームを有する施設の内、循環器内科または心臓・血管外科を標ぼうしている施設数	緩和ケアチームを有する施設の内、循環器研修施設数
北海道	44	75	40	30	滋賀県	13	16	13	12
青森県	9	11	8	6	京都府	28	38	28	24
岩手県	11	11	11	7	大阪府	69	105	61	57
宮城県	16	18	16	12	兵庫県	46	63	40	30
秋田県	14	11	13	9	奈良県	10	14	7	5
山形県	10	16	10	10	和歌山県	13	12	12	8
福島県	13	22	12	10	鳥取県	9	6	8	6
茨城県	16	27	16	12	島根県	15	8	12	6
栃木県	11	15	10	6	岡山県	18	16	14	9
群馬県	16	19	13	11	広島県	32	31	24	18
埼玉県	41	51	34	28	山口県	14	22	12	10
千葉県	32	46	28	23	徳島県	10	12	9	7
東京都	73	117	65	61	香川県	11	16	11	9
神奈川県	46	78	44	40	愛媛県	16	25	14	13
新潟県	16	17	12	10	高知県	7	11	7	6
富山県	17	13	16	12	福岡県	35	70	33	27
石川県	16	15	13	11	佐賀県	5	10	5	5
福井県	9	11	8	6	長崎県	18	21	16	11
山梨県	7	9	7	7	熊本県	27	20	26	15
長野県	20	26	18	13	大分県	13	22	11	10
岐阜県	20	26	19	14	宮崎県	8	9	7	4
静岡県	24	35	21	20	鹿児島県	23	27	21	19
愛知県	42	64	38	36	沖縄県	12	22	10	10
三重県	17	23	17	14	平均(※)	21	28	19	16

循環器研修施設：日本循環器学会循環器専門医研修施設及び循環器専門医研修関連施設(平成29年10月時点)

※：1都道府県あたりの平均施設数